

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和6年3月14日

計画の名称	尾道・瀬戸田地区街なみ環境整備計画（第2期）		
計画の期間	平成29年度～令和3年度（5年間）	交付対象	広島県尾道市
計画の目標			

平成19年4月1日から施行している尾道景観計画重点地区と平成24年6月6日に認定された尾道市歴史的風致維持向上計画重点地区内の、さまざまな時代性、地域性が混在する尾道の特徴を活かした環境のまちづくりを、街なみ環境整備事業によって計画推進することで、景観と歴史的風致の維持向上を図る。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の景観及び住環境を悪化させている老朽建造物を除去する。（整備戸数 N=40戸）</li> <li>・道路の美装化を行い景観の向上と観光施設への誘導を図る。（整備総延長 L=5000m）</li> <li>・建物の修景等を行い、歴史と自然に調和した街なみの景観の維持、向上を図る。（整備戸数 N=70戸）</li> </ul>		
----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (R01末)	最終目標値 (R03末)							
① 事業実施状況をもとに算出する。 (老朽住宅除却率) = (除却された老朽建築物戸数) / (老朽除却目標戸数) (%)	0.0%	60.0%	100.0%							
② 道路美装化の進捗状況により算出 (整備率) = (整備延長) / (整備事業総延長) (%)	0.0%	42.0%	70.0%							
③ 建物整備の実績による算出 (整備目標建物の整備率) = (整備実施件数) / (整備目標建物の件数) (%)	0.0%	60.0%	100.0%							
全体事業費（実績）	合計 (A+B+C)	450百万円	A	439百万円	B	0百万円	C	11百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.4%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期		事後評価の実施時期
事後評価の実施体制		令和5年度
尾道市建設部まちづくり推進課において実施		公表の方法
		市ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 道路事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
								H29	H30	R01	R02	R03				
1-A1-1	住宅	一般	尾道市	直/間	市/個人	尾道地区街なみ環境整備事業	道路の美装化、空家住宅等除却補助等						324			
1-A1-2	住宅	一般	尾道市	直/間	市/個人	瀬戸田地区街なみ環境整備事業	道路の美装化、空家住宅等除却補助等						115			
合計												439				
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H29	H30	R01	R02	R03		
合計												0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費	備考	
									H29	H30	R01	R02	R03			
1-C-1	住宅	一般	尾道市	間接	個人	空家対策事業	空家改修（再生）	尾道市						3		
1-C-2	住宅	一般	尾道市	間接	個人	まちなみ形成事業	歴史的建造物の修理・復元・外観変更	尾道市						8		
合計												11				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
1-C-1	人口減の対策として、空家に対する修景整備等の促進を図る。															
1-C-2	景観計画において重点地区として設定した地域に散在する歴史的建造物・工作物の整備（修理・復元・外観変更等）することにより、個性的で風格のある尾道らしいまちなみの創出を図る。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

・周辺の景観を悪化させている老朽建造物の除去により、街なみの景観の維持、向上並びに住環境の改善に繋がった。  
 ・道路の美装化による街なみ景観の向上に加え、道路の安全性・快適性・回遊性の向上により、観光客の観光施設への円滑な誘導につなげられた。  
 ・建物の修景等により、歴史と自然に調和した尾道らしい街なみの創出に繋がった。

II 定量的指標の達成状況

指標①（老朽住宅除却率）

最終目標値

100.0%

目標値と実績値  
に差が出た要因

予想より申請件数が多く、除却目標戸数40戸に対し除却戸数48戸となったため。

最終実績値

120.0%

指標②（道路美装化整備率）

最終目標値

70.0%

目標値と実績値  
に差が出た要因

歴史的風致維持向上計画に定めた美装化予定路線のうち7割の施工を目指したが、実際の施工完了区間が目標の半分程度となったため。

最終実績値

35.0%

指標③（建物等修景整備率）

最終目標値

100.0%

目標値と実績値  
に差が出た要因

予想より申請件数が少なく、整備目標建物等の件数70戸に対し、整備実施件数20戸となったため。

最終実績値

28.6%

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

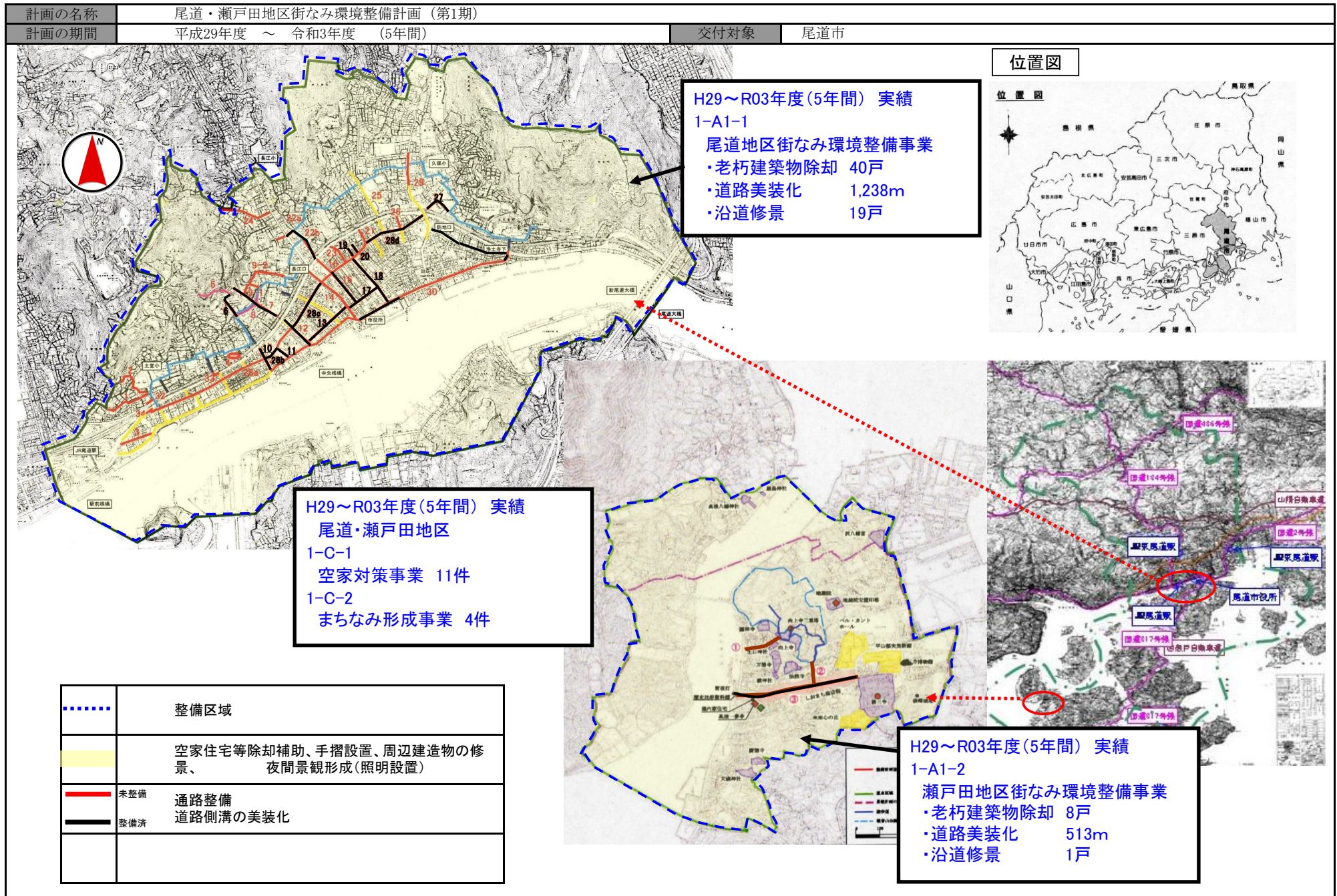
・美装化された道路近郊における地域行事に賑わいが生まれた。  
 ・令和3年に実施した市民満足度調査において、「尾道らしい景観や風景が良好に保全されている」と回答した市民の割合が74.5%と高い割合を示した。

3. 特記事項（今後の方針等）

・新たな5ヶ年計画（尾道・瀬戸田地区街なみ環境整備計画（第3期））により、引き続き道路の美装化、建物の修景等を行うことで、歴史と自然に調和した街なみの景観の維持、向上を図り、地区全体の魅力あるまちづくりを推進する。



(図面) 社会資本総合整備計画



交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H29	H30	R01	R02	R03
配分額 (a)	48.701	42.477	48.859	41.645	43.329
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
交付額 (c=a+b)	48.701	42.477	48.859	41.645	43.329
前年度からの繰越額 (d)	2.278	6.850	25.468	35.309	0.000
支払済額 (e)	44.129	23.859	39.018	76.954	39.329
翌年度繰越額 (f)	6.850	25.468	35.309	0.000	4.000
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
不用額 (h= c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
未契約繰越+不用率 (h= (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越+不用率が 10%を超えている場合 その理由					